



鍾秀だより

南陽市立宮内小学校
南陽市宮内 3415 番地
電話 47-2106
校長 吉水 順一

2 学期始業式（8 月 26 日）

8 月 26 日に 2 学期の始業式を行いました。始業式で子どもたちに下記のように話をしました。

「25 日間の夏休みも昨日で終えて、今日から 83 日間の 2 学期がスタートしました。今日、誰一人欠けることなく、夏の栄養をたっぷりって大きく成長した皆さんに会えたことがとてもうれしいです。

1 学期は、新しい出会い、新しい活動がありました。皆さんは、一つ一つの取組に真正面から向き合い頑張り、たくさんの力を蓄えました。2 学期は、その力を遺憾なく発揮し、実践する学期です。

一つ目は、自分を守ることです。

そのためには、自分で判断して正しい行動をとることが大事です。例えば、熱中症にならないためにはどうすべきか。突然の雷やゲリラ豪雨がきたらどう行動するか。ゲームの時間をどうコントロールするか。時と場に応じてどう行動するか、考えて行動することが自分を守ることにつながります。

二つ目は、自分を変えることです。

皆さんは、やってもいないのに、『やりたくない』『無理』と思って自分を変えようとしなかったことはありませんか。何か新しいことを始めたり、思い切って挑戦したりしなければ、結局、今までと何にも変わらず、成長しないということになってしまいます。2 学期は、運動会や学習発表会などいろいろな行事がありますので、簡単にできるのではなく、少し高い目標を立てて頑張ってみてください。また、学級や学年の中でもいろいろな役割があると思います。自分から『やります!』と立候補してみてください。

自分の苦手なことを克服することが、自分を変えることです。一番長い 2 学期、280 名の鍾秀っ子と先生たちで素晴らしい学校を作っていきたいと思っておりますので、一緒に頑張りましょう。」



2 学期にがんばりたいこと（4 年 1 組 長谷部愛紗さん）

2 学期は、83 日間と、一年で一番長い学期です。たくさんの学習内容や行事があり、わくわくします。この 2 学期に、わたしががんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、みんなのことを考えられる人になることです。自分のクラスのことだけでなく、他のクラスや他の学年のことも考えることができるようにしたいです。だれかが困っていたら、手伝ってあげたり、はげましてあげたりして、みんなが楽しく笑顔いっぱいになれる学校にしたいです。

二つ目は、運動会です。私は、あまり足が速くありませんが、きょ年よりも、もっと練習をして少しでも速く走ることができるようにしたいです。さらに、中学年の競技でみんなと力を合わせたり、応援で大きな声を出したりしたいです。また、今年から実行委員会や応えん団に参加できるようになります。私は、応えん団に入りたいと思っています。そして、学校のリーダーの一員として、みんなを引っばっていきたくたいです。運動会当日は、おうえん賞も優勝も勝ち取りたいです。

三つ目は、学習です。授業の内容を整理して、きれいにノートをとったり、自分で考えたことをせっきよく的に挙手して発表したりしたいです。私は、漢字やわり算が苦手なので、自主学習を計画的に進めて、苦手なところがなくなるようにしたいです。

この三つのことをがんばって、楽しい 2 学期が送れるようにしていきたいと思っております。

先日の下校の対応ありがとうございました

26日は、雷雨予報のため下校時刻を早める連絡をマチコミメールで流させていただきました。13:50に全校生がピロティに集合しましたが、雷が鳴りやまなかったためすぐには下校させず20分間その場に待機させました。雨が降ると落雷の危険性が低くなることから、小雨が降り出し雷鳴も遠ざかったため方面別に教職員がついて下校することができました。

急な連絡や迎えへのご対応に心より感謝申し上げます。

今後も、災害など非常時での下校時刻や方法の変更が想定されます。職員間では、児童だけでは安全に下校できない場合を想定した引渡し方法について検討中です。その中一つが、保護者の皆様の力をお借りして行う「引渡し訓練」です。

<訓練の例>

災害発生 ⇒ メールなどで学校留め置き・迎え依頼の連絡 ⇒ 保護者による迎え
⇒ 引渡し（確認） ⇒ 下校

訓練の具体内容は検討中ですが、これから PTA の役員さんとも協議をしながら訓練に取り組めるような動きを作っていきたいと考えています。

加藤梨乃先生と

倉澤光平先生が復職しました

お子さんの誕生を機に育児休業を取得していました、8月1日から加藤梨乃教諭、8月26日から倉澤光平教諭が復職しました。復職した2名の職員はもちろん、今後とも宮小教職員をよろしく願っています。

体育着の価格改定について

一昨日マチコミでお知らせした通り、本校の体育着を販売している業者からの文書ですすでにご承知とは存じますが、令和7年4月1日から本校の体育着が値上げとなります。

原材料費の高騰から値上げに至ったとのことでしたのでご了解くださるようお願いいたします。今年度中（3月31日まで）は現在の価格とのことでしたのでよろしくお願いいたします。

来週の通知表配付よろしく願っています

9月2日（月）～6日（金）に前期の通知表を配付させていただきます。1学期末に各担任から予定を示させていただきました。お忙しい中ご来校いただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。学校や家庭での生活について保護者の皆様と話ができる貴重な時間と考えています。ご心配な点などございましたら担任へご相談くださるようお願いいたします。

「なまり」～ 所感 ～

「おしょうしな」は都会の人にとっては全く理解できない言葉であろう。あっ、いまの南陽の子どもたちも？「ありがとう」という言葉は、それ自体が温かいものだが、流暢な「なまり」の「おしょうしな」は、本当にあったかく心に響く。

「なまり」はその地域特有のものであり、いうなれば地域性が最も現れたものである。しかしながら、首都圏で暮らすようになると、それを隠して標準語を使う。北海道での4年間の大学生活では、関西生まれの友人は「なんやねん」「ほな、さいなら」などなど、隠すことなく大いに関西弁を使っていたが、東北生まれの私は、どうしても恥ずかしくて、「置賜弁」をひた隠しにして生活してきた。

地域創生、地域の時代と叫ばれる昨今、地域から情報を発信する「グローバル」な時代がやってきている。これからはインターネットでどこにいても、いつでも、だれとでも、つながっていける時代…。こんな時代だからこそ、地域を愛し、自分の「おくになまり」を大事にする、そんなことも必要なのかもしれない。

さて、「AI」の時代、「なまり」を通訳してくれるアプリも出るかも…。それはそれで味気ない気もするが…。